

これからの社会で期待される能力を考える

——「よく生きる」ために一生かけて身につけた方がよい「能力」とは——

林 明 夫

(社団法人経済同友会幹事)

1. はじめにー自己紹介を兼ねてー

(1) 私の好きな言葉

- ①一生勉強、一生青春 (足利市在住の書家、相田みつを先生)
- ②自他共栄、練習で泣いて試合で笑え (足利市立山辺中学校柔道部、椎名弘先生)
- ③ブルドック魂…食いついたら離すな
(足利市立山辺中学校 2 年・3 年クラス担任、岡田忠治先生)
- ④一所懸命…一つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組む (足利高校マラソン大会合言葉)
- ⑤独立自尊 (慶應義塾創始者、福沢諭吉先生)
- ⑥会った人は皆友達 (京都一燈園、石川洋先生)
- ⑦教育ある人とは一生勉強し続ける人 (経営学のドラッカー先生)
- ⑧目には遠いが心は近い (インドのことわざ)

(2) どのような仕事をしているのか

- ①経営：「経営」とは「営みを経て目的を達すること」(「卓越した業績」をめざして)
 - (ア)株式会社開倫塾 代表取締役社長(学習塾)
 - (イ)マニー株式会社 社外取締役(手術用縫合針製造)
 - (ウ)社会福祉法人両崖福祉会 理事評議員(特別養護老人ホーム)
 - (エ)学校法人友朋学園 東日本高等学院 評議員
- ②社会活動：(調査、研究、提言、活動)(「ビジネス・ステーツマン」をめざして)
 - (ア)宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授
 - (イ)宇都宮大学国際学部「人間の安全保障」論 担当< 2008 年秋学期より>
 - (ウ)開倫ユネスコ協会 会長
 - (エ)開倫研究所 所長
 - (オ)栃木県社会教育委員(栃木県教育委員会)
 - (カ)教育制度改革に関する懇談会委員(宇都宮市教育委員会)
 - (キ)経済同友会(東京、栃木、群馬)
 - (ク)国際会議参加

③執筆、講演活動：（「コラムニスト」をめざして）

（ア）ラジオ CRT 栃木放送「開倫塾の時間」毎週土曜日 9:15 ～ 9:25（21 年間一人で担当）

（イ）コラム執筆

（ウ）講演、出張授業

（3）仕事を通して得た喜びとは

①「社会的使命(mission)」：成功の実現に貢献すること。

②各々の組織の社会的使命(mission)の達成に少しでも貢献できること。

（4）苦勞したこと（経験を通して大切と考えること）

①体調不良で十分活動できなくなったとき。

②健康第一。（健康とは、身体健康と心の健康）自分の健康、家族の健康、上司の健康、部下の健康、同僚の健康、ビジネスパートナーの健康、地域社会の健康。

2. これからの社会で期待される「能力」とは

—「人生の成功(よく生きること)」と「正常に機能する社会(持続的に発展する社会)」のためにはどのような「能力」が必要かを考える—

〔参考〕ドミニク・S・ライチェン、ローラ・H・サルガニク編「キー・コンピテンシー」明石書店 2006 年

（1）相互作用的に道具を用いる能力（知識社会に対応する能力）

①〔学校（小・中・高・大・大学院など）で勉強するような〕言語、シンボル、テキストを相互作用的に用いる能力。

②〔コンピュータなどで得られる〕知識や情報を相互作用的に用いる能力。「何がわかっていないのかを知り、決定」→「情報源を特定、位置づけ、アクセス」→情報の質、適切さ、価値を評価→知識と情報を整理。

③技術を相互作用的に用いる能力。

（2）異質な集団で交流する能力（グローバル化に対応する能力、多様性 diversity）

①他人とよい関係をつくる能力——「共感性」

②協力する能力——自分のアイデアを出す、他人のアイデアを傾聴する能力。基本方針に従う力。戦略的または持続可能な協力関係をつくる力。交渉する力。異なる反対意見を考慮して決定できる包容力→「説明能力」

③争いを処理し、解決する能力。

（ア）異なる立場があることを知る。現代の課題、争いの原因と理由を分析。

（イ）合意できる領域とできない領域を確認。

（ウ）問題を再構成。

（エ）進んで妥協できる部分とその条件を決めながら、要求と目標の優先順位をつける。

（3）自律的に活動する能力

①「高い志」、「大きな展望」の中で活動する能力。

②「よく生きる」ために「人生計画」を立て、「何がやりたいか」をデザイン、設計し、実行する能力。

(ア)計画を決め、目標を定める。

(イ)自分の利用できる資源（例えば、時間、お金）を知り、現状を評価する。

(ウ)目標の優先順位を決め、整理する。

(エ)様々な目標に照らし、必要な資源のバランスを取る。

(オ)過去の自分の行動から学び、将来の成果を計画する。

(カ)(どこまでできたか)進歩をチェックし、計画の進展に応じ必要な調整を行う。

③自分の持つ権利、義務を自覚し、適正に行行使する。

*以上の能力は、生涯にわたり成長し、変化する。

考える能力と思慮を持って活動する能力は、成熟に伴って成長する。「生涯教育（Life Long Learning）」として、(1)～(3)の能力をめざそう。

3. おわりに―「一生勉強、一生青春」―

(1)「英語」と「コンピュータ」、「得意分野」は現代の「三種の神器(3つの大切な持ち物)*」

*皇位継承のしるしとして、代々の天皇に受け継がれる三種類の宝物。八咫鏡(ヤタノカガミ) 天叢雲剣(アメノムラクモノツルギ) 八咫瓊勾玉(ヤサカニノマガタマ)。

早めに英検 2 級を取得し、毎日 1 時間英字新聞を読み続けること。読んでわからないことは聞いてもわからない。日本語で新聞を 1 時間読み、よくわかった内容だけでも英字新聞で毎日 1 時間読むとよい。

(2)質の高い内容の読書を。「書き抜き読書ノート」をつくろう。「伝記」も。

(3)国内外を旅行し、日本や世界の「よさ」、「課題」を見つけよう。「歩きながら考える」

(4)いろいろな職業の人と接し、何のために働くのかを考えよう。

①「Decent Work ディーセント・ワーク」とは、「生活できるだけの収入が得られ」、仕事を通して「自己実現できる」仕事。

②人様のお役に立ってはじめて、仕事をしたと言える。お役に立つとは、問題解決に役立つこと。

③そのためには、たえず勉強し続けなければならない。35 歳までは基本的な勉強を。

(5)Learning To Learn(学び方を学ぶこと)のスキルを身につけること。「自己学習能力」の育成を。

(6)自分のよさを伸ばそう。

(7)いつまでも若々しく生きること。明るく、楽しく、元気よく、自分らしく 105 歳まで生きよう。

以上

一御清聴を感謝いたしますー

1 月 26 日記